

2025 年度

一般入試 入学試験問題

## 数 学

基礎問題

(30 分, 100 点)

## 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開かないでください。
2. 問題は、**1** ~ **13** まであります。
3. 定規、コンパスを使用しても構いませんが、三角定規、分度器を使用してはいけません。
4. 円周率が必要な場合は、すべて  $\pi$  で計算してください。
5. 答えのみを解答用紙（別紙）の所定の欄らんに記入してください。
6. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入し、最後にもう一度確認してください。
7. 解答用紙だけ回収しますので、問題用紙は持ち帰ってください。

1  $\frac{2}{3}a^3b \times \frac{1}{7}ab^3$  を計算しなさい。

2  $x^2 - 2x + 1 - y^2$  を因数分解しなさい。

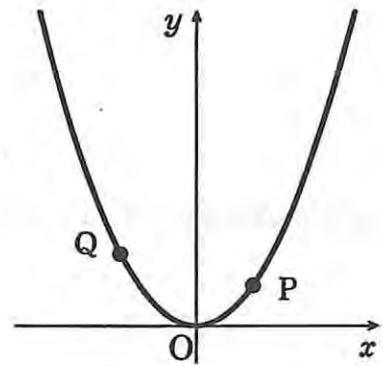
3  $x = \sqrt{2} + 2$  のとき、 $x^2 - x - 2$  の値を求めなさい。

4 Aさん、Bさん、Cさんの3人でじゃんけんを1回したとき、引き分け（あいこ）になる確率を求めなさい。ただし、3人のグー、チョキ、パーの出し方は同様に確からしいものとする。

5 2点 A(-1, 1), B(2, 5)がある。2点 A, B を通る直線と  $y$  軸に関して対称な直線の方程式を求めなさい。

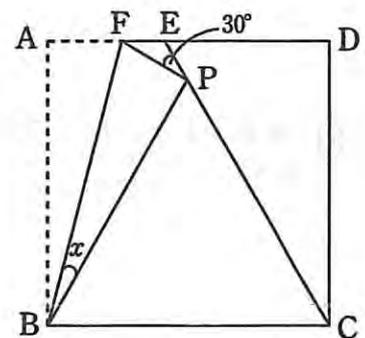
- 6  $x$ の変域が  $-1 \leq x \leq 3$  である2つの関数  $y = -x^2$ ,  $y = ax + b$  の  $y$  の変域が一致する。  
このとき、定数  $a, b$  の値を求めなさい。ただし、 $a > 0$  とする。

- 7 右の図のように、放物線  $y = x^2$  と点  $P(1, 1)$ , 点  $Q\left(-\frac{3}{2}, \frac{9}{4}\right)$  がある。 $\triangle OPQ$  と  $\triangle OPR$  の面積が等しくなるような点  $R$  をこの放物線上の  $x$  座標が正の部分にとる。点  $R$  の座標を求めなさい。

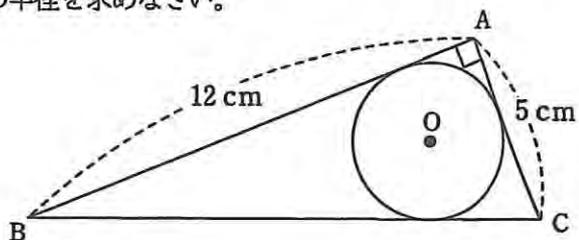


- 8  $n$  は自然数とする。 $\sqrt{2025+n}$  の値が自然数となる最小の  $n$  の値を求めなさい。

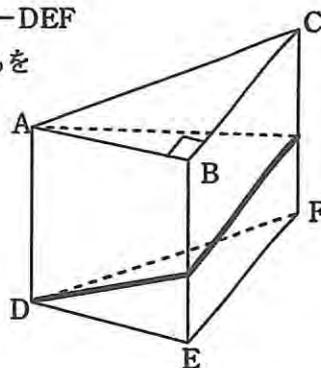
- 9 右の図のように、正方形  $ABCD$  があり、辺  $AD$  上に点  $E$  がある。頂点  $A$  が線分  $EC$  上にくるように線分  $FB$  で折り返したとき、頂点  $A$  が動いた点を  $P$  とする。このとき、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。



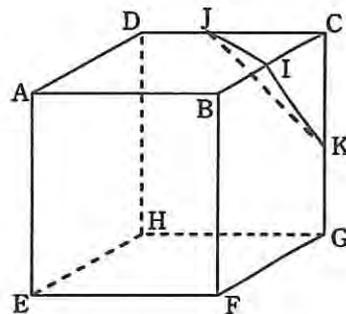
- 10 右の図において、 $\triangle ABC$ の3つの辺に接する円Oの半径を求めなさい。



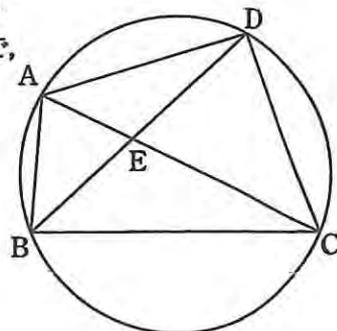
- 11 右の図は、 $AB=AD=6\text{ cm}$ 、 $AC=10\text{ cm}$ 、 $\angle ABC=90^\circ$ の三角柱 $ABC-DEF$ である。三角柱の表面に頂点Aから辺CF、辺BEを通して頂点Dまでひもをたるまないようにかけたとき、ひもの最短の長さを求めなさい。



- 12 右の図のように、一辺の長さが8 cmの立方体 $ABCD-EFGH$ がある。辺BCの中点をI、辺CDの中点をJ、辺CGの中点をKとする。頂点Cから $\triangle IJK$ に引いた垂線と $\triangle IJK$ との交点をLとするとき、線分CLの長さを求めなさい。



- 13 右の図のように、4点A, B, C, Dは同じ円の円周上にある。線分ACと線分BDの交点をEとすると、 $\triangle CED$ は $CE=CD$ の二等辺三角形で、 $\widehat{AD} = \widehat{CD}$ とする。また、ABが2 cm、ADが3 cmであるとき、線分DEの長さを求めなさい。



2025 年度 一般入試 入学試験 数学 基礎問題 解答用紙

受験番号	氏名
------	----

※『答え』のみを書きなさい。

[1]	[2]
[3]	[4]
[5]	[6] $a =$ , $b =$
[7] $R($ , $)$	[8] $n =$
[9] 度	[10] c m
[11] c m	[12] c m
[13] c m	

2025年度 一般入試 入学試験 数学 基礎問題 解答用紙

受験番号	氏名
------	----

※『答え』のみを書きなさい。

① $\frac{2}{21}a^4b^4$	② $(x-y-1)(x+y-1)$
③ $2+3\sqrt{2}$	④ $\frac{1}{3}$
⑤ $y = -\frac{4}{3}x + \frac{7}{3}$	⑥ $a = \frac{9}{4}, b = -\frac{27}{4}$
⑦ $R\left(\frac{5}{2}, \frac{25}{4}\right)$	⑧ $n = 91$
⑨ 15(度)	⑩ 2(cm)
⑪ $6\sqrt{17}$ (cm)	⑫ $\frac{4\sqrt{3}}{3}$ (cm)
⑬ $\sqrt{10} - 1$ (cm)	

2025 年度

一般入試 入学試験問題

# 数 学

応用問題

(50 分, 100 点)

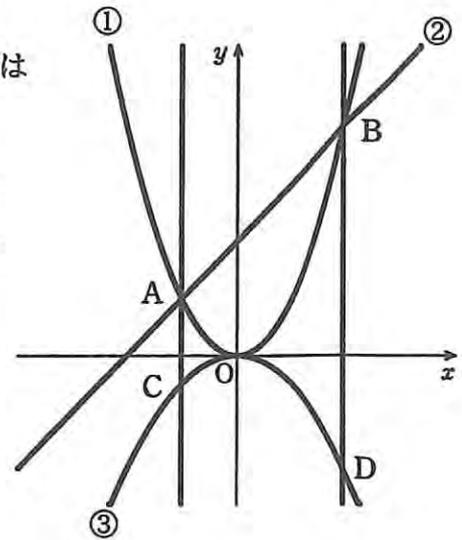
## 受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開かないでください。
2. 問題は、 ～  まであります。
3. 計算過程にも配点があります。
4. 定規，コンパスを使用しても構いませんが，三角定規，分度器を使用してはいけません。
5. 円周率が必要な場合は，すべて  $\pi$  で計算してください。
6. 解答用紙には，受験番号と氏名を必ず記入し，最後にもう一度確認してください。
7. 解答用紙だけ回収しますので，問題用紙は持ち帰ってください。

- 1 右の図のように、放物線  $y = x^2 \dots \textcircled{1}$  と直線  $y = x + 2 \dots \textcircled{2}$  は点 A, B で交わっており、点 A の  $x$  座標は負、点 B の  $x$  座標は正である。

点 A, B を通り、 $y$  軸に平行な直線と放物線  $y = -\frac{1}{2}x^2 \dots \textcircled{3}$  との交点をそれぞれ点 C, D とする。このとき、次の各問いに答えなさい。

- (1) 点 A, B の座標を求めなさい。



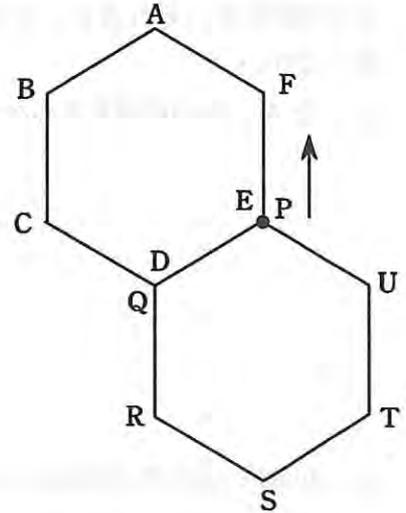
- (2) 四角形 ACDB の面積を求めなさい。

- (3) 直線  $y = \frac{1}{2}x + b$  が、四角形 ACDB の面積を 2 等分するとき、 $b$  の値を求めなさい。

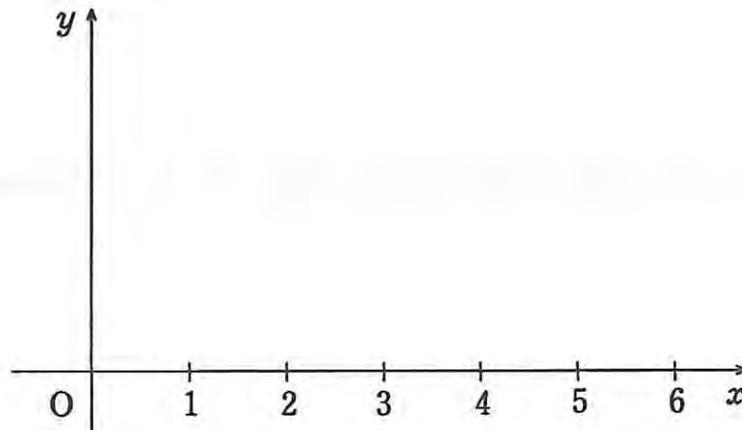
- 2 次の図のように、一辺の長さが  $a$  cm の正六角形  $ABCDEF$  の辺  $DE$  と、それと合同な正六角形  $PQRSTU$  の辺  $QP$  が重なっている。正六角形  $PQRSTU$  は図の向きを変えずに、頂点  $P$  が正六角形  $ABCDEF$  の辺上を、 $E \rightarrow F \rightarrow A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow D \rightarrow E$  の順に通るように秒速  $1$  cm の速さで動く。頂点  $P$  が動いた時間を  $x$  秒、2つの正六角形の重なった部分の面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とする。このとき、次の各問に答えなさい。

(1)  $0 \leq x \leq a$  における  $y$  と  $x$  の関係を  $a$  を用いた式で表しなさい。

(2)  $a=1$  とし、頂点  $P$  が辺  $FA$  上を動くとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。



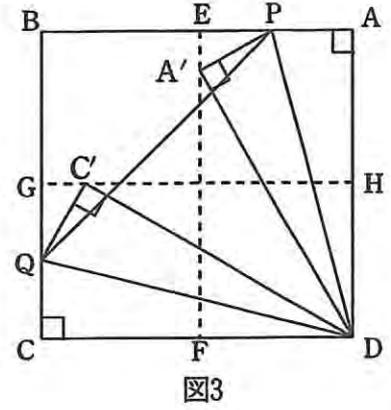
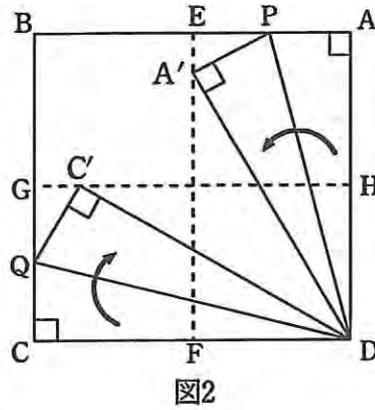
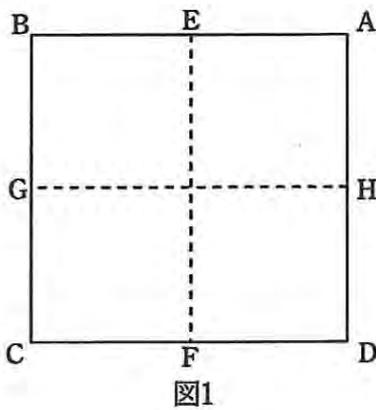
(3)  $a=1$  とし、頂点  $P$  が頂点  $E$  を出発し再び頂点  $E$  に戻るまでの  $x$  と  $y$  の関係を解答用紙のグラフに表しなさい。 $y$  軸の目盛りを記すこと。(この問題は答えのみでよい)



3 次の図のように、正方形 ABCD の折り紙を以下の手順で折って正三角形を作る。

【手順】

- ① 縦と横に半分の折り目 (EF と GH) をつけて、開く。(図1)
- ② 角 A が EF に重なるように折り目 (PD) をつけて、A が EF と重なる点を A' とする。(図2)
- ③ 角 C が GH に重なるように折り目 (QD) をつけて、C が GH と重なる点を C' とする。(図2)
- ④ PQ を折り目として折り、正三角形  $\triangle DPQ$  を作る。(図3)

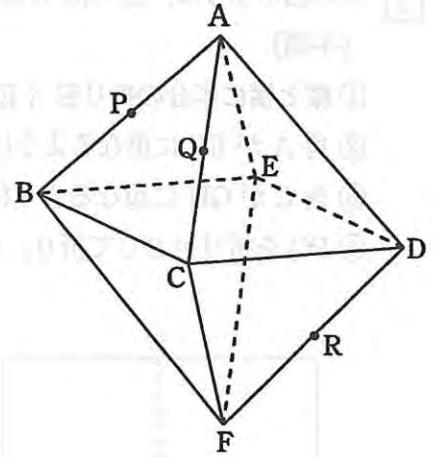


次の各問いに答えなさい。

(1)  $\triangle DPQ$  が正三角形であることを証明しなさい。ただし、 $A'C=BC$ ,  $C'A=BA$  とする。

(2) 折り紙の 一辺の長さが 15 cm のとき、正三角形  $DPQ$  の 一辺の長さを求めなさい。

- 4 右の図のような、一辺の長さが1 cm の正八面体において、  
 辺  $AB$ ,  $AC$ ,  $DF$  の中点をそれぞれ  $P$ ,  $Q$ ,  $R$  とする。  
 3点  $P$ ,  $Q$ ,  $R$  を含む平面でこの立体を切って2つに分けるときの、  
 次の各問いに答えなさい。



- (1) 頂点  $A$  を含む立体の面の数を求めなさい。

- (2) 切り口の面積を求めなさい。

- (3) 頂点  $A$  を含む立体の表面積を求めなさい。

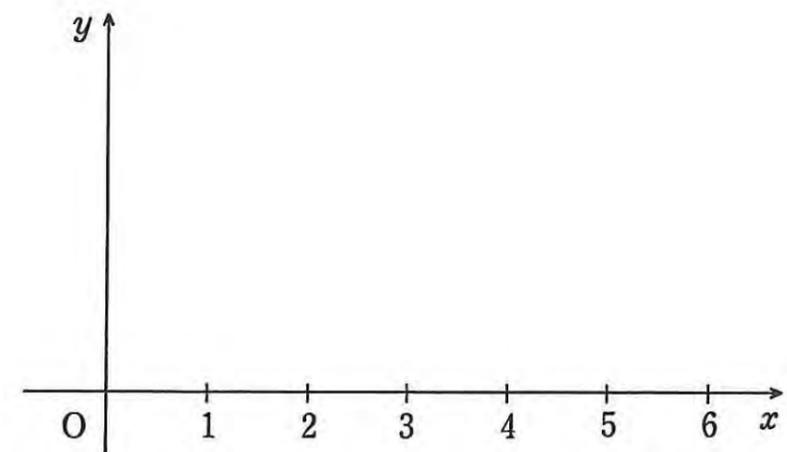
受験番号

氏名

1

2

(3)



3

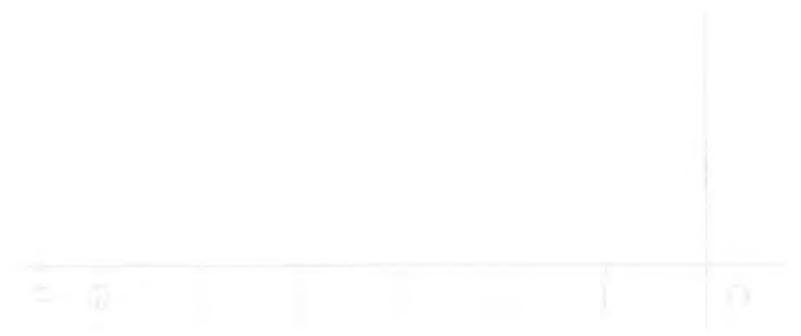
姓名

学号

4

姓名

学号



1

(1) ①と②より

$$x^2 = x + 2$$

$$x^2 - x - 2 = 0$$

$$(x+1)(x-2) = 0$$

$$x = -1, 2$$

$$x = -1 \text{ を ① に代入して } y = 1$$

$$x = 2 \text{ を ① に代入して } y = 4$$

よって、点A, Bの座標はそれぞれA(-1, 1), B(2, 4)

(2) 直線  $x = -1$  と放物線③の交点Cの座標は  $C(-1, -\frac{1}{2})$

直線  $x = 2$  と放物線③の交点Dの座標は  $D(2, -2)$

四角形ACDBはAC//BDの台形で

$$AC = 1 - (-\frac{1}{2}) = \frac{3}{2}, \quad BD = 4 - (-2) = 6 \text{ より}$$

上底をAC, 下底をBDとすると、高さは  $2 - (-1) = 3$  であるから、その面積は

$$\frac{1}{2} \times (\frac{3}{2} + 6) \times 3 = \frac{45}{4}$$

(3) 直線  $y = \frac{1}{2}x + b$  ... ④とする。④と直線ACとの交点をP, 直線BDとの交点をQとする。

点Pが点Aと一致するとき、直線④は  $y = \frac{1}{2}x + \frac{3}{2}$  となり、点Qの座標は  $(2, \frac{5}{2})$  となる。

このとき、 $\triangle PBQ$ の面積は  $\frac{1}{2} \times (4 - \frac{5}{2}) \times \{2 - (-1)\} = \frac{9}{4} < \frac{45}{8} = \frac{45}{4} \times \frac{1}{2}$

点Pが点Cと一致するとき、直線④は  $y = \frac{1}{2}x$  となり、点Qの座標は  $(2, 1)$  となる。

このとき、四角形APQBの面積は、 $\frac{1}{2} \times \left[ \left\{ 1 - (-\frac{1}{2}) \right\} + (4-1) \right] \times \{2 - (-1)\} = \frac{27}{4} > \frac{45}{8}$

よって、点Pは、2点A, Cを含まない線分AC上にある。

2点P, Qの座標はそれぞれ  $P(-1, -\frac{1}{2} + b)$ ,  $Q(2, 1 + b)$  であるから、台形APQBの面積は

$$AP = 1 - (-\frac{1}{2} + b) = \frac{3}{2} - b, \quad BQ = 4 - (1 + b) = 3 - b$$

よって、 $\frac{1}{2} \times (AP + BQ) \times 3 = \frac{45}{8}$

$$\frac{1}{2} \times \left\{ \left( \frac{3}{2} - b \right) + (3 - b) \right\} \times 3 = \frac{45}{8}$$

$$\frac{3}{2} \left( \frac{9}{2} - 2b \right) = \frac{45}{8}$$

$$\frac{9}{2} - 2b = \frac{15}{4}$$

$$-2b = -\frac{3}{4}$$

よって  $b = \frac{3}{8}$

2

正六角形の面積は、一辺の長さが  $a$  cm の正三角形6つ分より、 $6 \times \frac{\sqrt{3}}{4} a^2$

$$(1) y = \frac{\sqrt{3}}{2} ax$$

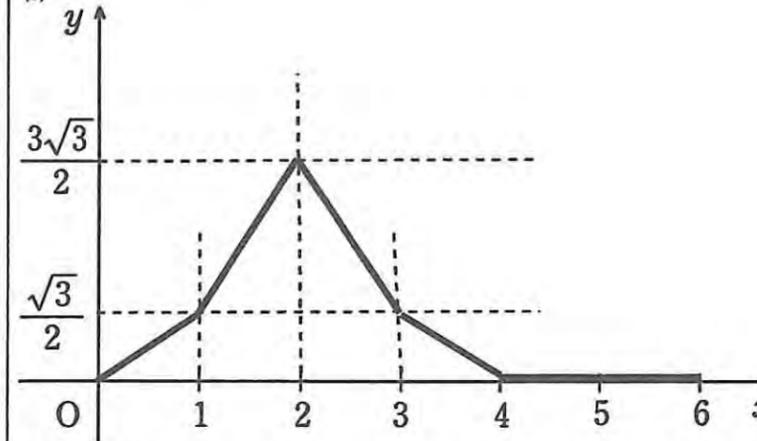
(2) 正六角形ABCDEFの対称の中心をOとすると

四角形FODEの面積は、 $a = 1$  のとき、 $\frac{\sqrt{3}}{4} \times 2 = \frac{\sqrt{3}}{2}$

$$y = \frac{\sqrt{3}}{2} + \frac{\sqrt{3}}{2} (x-1) \times 2$$

$$y = \sqrt{3}x - \frac{\sqrt{3}}{2}$$

(3)



3

(1) 証明

$A'C = BC = CD = DA = DA'$ となり、 $\triangle A'CD$ は正三角形である。

よって $\angle CDA' = 60^\circ$ より、 $\angle A'DA = 30^\circ$

$\triangle PAD$ と $\triangle PA'D$ において

$\angle PAD = \angle PA'D = 90^\circ$

$AD = A'D$

$PD$ は共通の辺

直角三角形の斜辺と他の一辺がそれぞれ等しく

$\triangle PAD \cong \triangle PA'D$

対応する角は等しく  $\angle ADP = \angle A'DP = 15^\circ \dots \textcircled{1}$

同様に、 $\triangle CAD$ が正三角形、 $\triangle QCD \cong \triangle Q'CD$ より、 $\angle CDQ = \angle C'DQ = 15^\circ \dots \textcircled{2}$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より、 $\angle PDQ = 90^\circ - 15^\circ - 15^\circ = 60^\circ \dots \textcircled{3}$

次に、 $\triangle APD$ と $\triangle CQD$ において

$AD = CD$

$\angle DAP = \angle DCQ = 90^\circ$

$\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ より、 $\angle ADP = \angle CDQ = 15^\circ$

一組の辺とその両端の角がそれぞれ等しく

$\triangle APD \cong \triangle CQD$

対応する辺は等しく  $PD = QD \dots \textcircled{4}$

$\textcircled{3}$ 、 $\textcircled{4}$ より、 $\triangle DPQ$ は頂角が $60^\circ$ の二等辺三角形なので、正三角形である。

(2)  $AP = a$ とすると、 $BP = 15 - a$ とおける

$\triangle BQP$ は直角二等辺三角形より、 $PQ = \sqrt{2}(15 - a)$

$\triangle APD$ において三平方の定理より

$PD^2 = AP^2 + AD^2 = a^2 + 15^2$

$PD = \sqrt{a^2 + 225}$

(1)より  $PQ = PD$ なので  $\sqrt{2}(15 - a) = \sqrt{a^2 + 225}$

両辺を2乗して、 $2(15 - a)^2 = a^2 + 225$

$a^2 - 60a + 225 = 0$

$a = \frac{60 \pm \sqrt{3600 - 900}}{2} = 30 \pm 15\sqrt{3}$

ここで、 $15 > 15 - a > 0$ より  $a = 30 - 15\sqrt{3}$

$PQ = \sqrt{2}(15 - a)$ より

$PQ = \sqrt{2}(15 - 30 + 15\sqrt{3})$

$= 15\sqrt{6} - 15\sqrt{2}$

4

(1) 図のように、3点  $P$ 、 $Q$ 、 $R$  を含む平面と辺  $EF$ 、 $BE$ 、 $CD$  の交点をそれぞれ  $S$ 、 $T$ 、 $U$  とする。

立体の面の数は8で、次の通りである。

六角形  $PQRST$

$\triangle ADE$ 、 $\triangle APQ$ 、 $\triangle DUR$ 、 $\triangle EST$

四角形  $QUDA$ 、四角形  $RSED$ 、四角形  $TPAE$

(2) 点  $P$ 、 $Q$ 、 $R$ 、 $S$ 、 $T$ 、 $U$  はそれぞれ辺  $AB$ 、 $AC$ 、 $DF$ 、 $EF$ 、 $BE$ 、 $CD$  の中点になる。

$\triangle ABC$  において、中点連結定理より、 $PQ = \frac{1}{2}BC = \frac{1}{2}$  (cm)

同様に、六角形  $PQRST$  の他の5つの辺  $QU$ 、 $UR$ 、 $RS$ 、 $ST$ 、 $TP$  の長さも  $\frac{1}{2}$  cm である。

よって、切り口の六角形は、一辺の長さが  $\frac{1}{2}$  cm の正六角形で、

その面積を求めればよい。

一辺の長さが  $\frac{1}{2}$  cm の正三角形の面積は

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times \left(\frac{1}{2}\right)^2 = \frac{\sqrt{3}}{16} \text{ (cm}^2\text{)}$$

であるから、切り口の正六角形  $PQRST$  の面積は

$$\frac{\sqrt{3}}{16} \times 6 = \frac{3\sqrt{3}}{8} \text{ (cm}^2\text{)}$$

(3)  $\triangle ADE$  は、一辺の長さが 1 cm の正三角形で、その面積は

$$\frac{\sqrt{3}}{4} \times 1^2 = \frac{\sqrt{3}}{4} \text{ (cm}^2\text{)}$$

また、6つの三角形  $\triangle APQ$ 、 $\triangle CUQ$ 、 $\triangle DUR$ 、 $\triangle FRS$ 、 $\triangle EST$ 、 $\triangle BTP$  は、一辺の長さが  $\frac{1}{2}$  cm の正三角形で、

合同である。

$\triangle APQ + (\text{四角形 } QU DA) = \triangle CUQ + (\text{四角形 } QU DA) = \triangle CDA$

$\triangle DUR + (\text{四角形 } RSE D) = \triangle FRS + (\text{四角形 } RSE D) = \triangle FDE$

$\triangle EST + (\text{四角形 } TPA E) = \triangle BTP + (\text{四角形 } TPA E) = \triangle BEA$

$\triangle CDA$ 、 $\triangle FDE$ 、 $\triangle BEA$  は、それぞれ一辺の長さが 1 cm の正三角形で、その面積は  $\frac{\sqrt{3}}{4}$  (cm<sup>2</sup>) である。

よって、求める立体の表面積は

$$\frac{3\sqrt{3}}{8} + 4 \times \frac{\sqrt{3}}{4} = \frac{11\sqrt{3}}{8} \text{ (cm}^2\text{)}$$

